

# 平成30年度 碧南市文化財展

大浜藩立藩 250 周年記念

## 鷲塚城主水野忠重と片山家



片山家守護神三面六臂大黒天立像  
(浄土宗遍照院・碧南市指定文化財)

徳川家康と鷲塚片山家に身を寄せる水野家  
武将との話し合い想像絵画



日時 平成30年 **11月10日** (土) ~ **25日** (日)

午前9時～午後9時

会場 碧南市文化会館 1階 展示室1 (月曜日休館)

主催 碧南市教育委員会

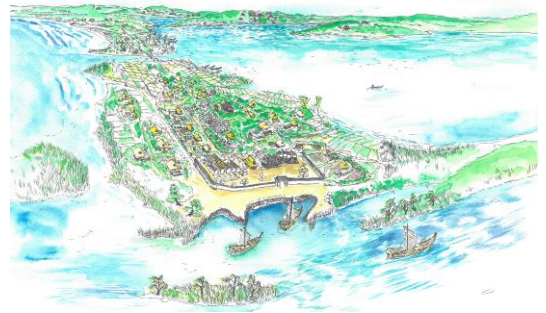
お問い合わせ 碧南市文化財課 TEL 48-6602

## 《 主な展示品 》

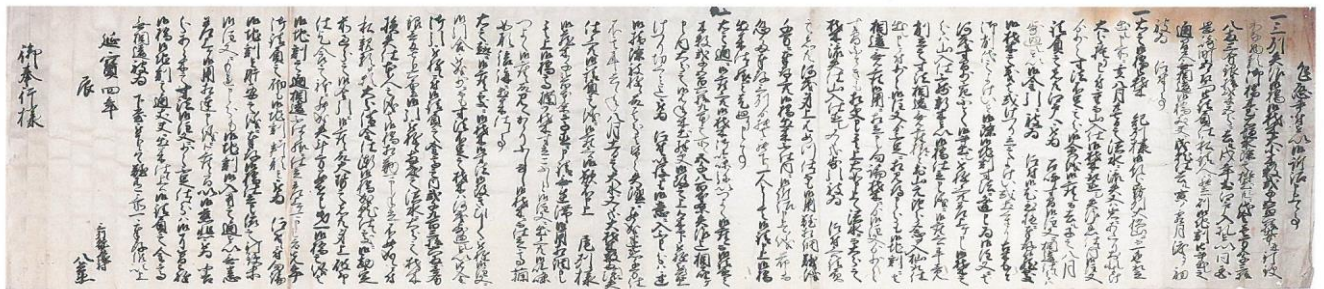
- ① 三河鷲塚片山家文書（片山家覚、太郎作御由緒事、系図）
- ② 三河鷲塚片山家文書（鷲塚湊・矢作橋関係文書）
- ③ 片山家関係諸氏図、水野忠重・片山家関係年表
- ④ 三河鷲塚城、鷲塚湊、中世片山屋敷などの想像絵図
- ⑤ 広島県賢忠寺より碧南市寄贈『絹本着色水野忠重公・勝成画像レプリカ』
- ⑥ 賢忠寺東堂書による忠重公、勝成公画賛
- ⑦ 片山家より鷲塚神社寄贈經典
- ⑧ 片山勝高墓碑文

江戸時代、矢作川流域幕府領の米は、鷲塚  
村庄屋片山家により、江戸へ廻船で運ばれま  
した。日本一長い岡崎の「矢作橋」に使う材  
木も片山家が「請人」として活躍しています。

片山家が残した古文書には、松平家に仕えた  
ことや水野家の人々とともに力を合わせ戦国  
時代を、乗り越えた先祖の「覚」が書かれてい  
ます。この「覚」を中心に紹介します。



川湊として繁栄する  
近世鷲塚湊想像絵図



延宝4年（1676）の片山家矢作橋文書と三代目矢作川大橋の想像絵図